

令和6年3月8日(金)付

七さんいんワイド

題字
川上 翔大
(島根大付属義務教育
学校前期課程6年)

若手の研究資金拡充

島根県立大DX人材育成

中期目標素案

籍する教授ら研究者は国の
2年度の科研費の採択率は
3キャンパス合計で55・3
%にとどまる。実績に乏し
取り組んでいるが、202

い若手研究者が採択を受け
ることが難しく、学内での
支援体制を確立する。
県議会総務委員会(福井
竜夫委員長、8人)で説明
した県総務課の岡本成生課
長は「時代の変化に合わせ
地域のニーズに応える人材
育成を進める」とした。
県は6月定例会議会で中
期目標案を示す。9月定例
会で議決を得た後、目標を
基にして県立大が数値目標
などを盛り込んだ中期計画
を策定する。(白築昂)

島根県が7日、県立大(本
部・浜田市野原町)の第4
期中期計画(2025〜31
年度)の基になる中期目標
の素案を示した。若手研究
者を支えるため学内資金の
拡充を進めるほか、松江、
出雲、浜田の県内3キャン
パスをオンラインでつな
ぎ、学生が公務員試験や教
員免許取得に向けた講義、
講座を遠隔から受講できる
よう検討することを盛り込
んだ。

「地域に貢献する人材を
輩出」といった第3期の基
本目標を踏襲した上で、デ
ジタルトランスフォーメー
ション(DX)など社会変
化に対応できる人材や、教
員や看護師など県内で慢
性的に不足する専門職の育成
を目指す。

学内資金拡充の狙いは、
若手研究者の支援強化。在

山下一也学長(左)から卒業証書を受け取る卒業生
＝松江市浜乃木7丁目、島根県立大松江キャンパス



思い出胸に新たな一歩

島根県立大松江で卒業式

島根県立大松江キャンパス(松江市浜乃木7丁目)の卒業式が15日にあり、人間文化学部と短期大学の卒業生193人が大学生活の思い出を胸に、未来に向かって新たな一歩を踏み出した。

人間文化学部113人と短期大学部80人が卒業。卒業生を代表して人間文化学部保育教育学科の青戸玲奈さんが、新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年に始まった大学生活を振り返り「日常のありがたさや人と人とのつながりの大切さを改めて学ぶことができた」と述べ、短期大学部文化情報学科の大谷寧花さんは「可能性を広げ、夢に向か

紙面編集・斉間 大輔

つてまい進していきたい」と決意表明した。

山下一也学長は、松江の茶の湯文化に由来する「一期一会」の精神を紹介し「大学生活での絆、これから巡



り会う人々との関係を心から大切にしてほしい」と力を込めた。

15日現在、就職が決まった卒業生は前年同期比13人減の169人、内定率は1・8割低い96・6%。14人が進学する。

(小引久実)